

# ネットパトロールだより

平成27年3月9日  
相模原市立総合学習センター  
<学習情報班>



## スマホ・ネット利用について ～みんなで共に考えていきましょう～

先月24日に「サイバー犯罪防止シンポジウム In Sagami-hara2015」が開かれ、パネルディスカッションが行われました。大学教授、サイバー委員、大学生、高校生、先生、保護者、相談員など様々な立場の方が、子どもたちの「スマホ・ネット利用」について意見を交換する場となりました。今回は、そのシンポジウムで活躍した相模原中等教育学校4年生（高校1年生）サイバー防犯ボランティアの皆さんへのインタビューと、作成した「スマホ18の約束翻訳版」を紹介します。年度末になり、「スマホ」を新しく購入するご家庭が増えると思います。その際にぜひ、携帯電話やスマートフォンを使うときの「ルール」について、みんなで考え、子どもたちが正しく使っていけるような環境を作ってほしいと思います。

### サイバー防犯ボランティアの皆さんに インタビューをしました

相模原中等教育学校4年生15名で活動を行っています。「かながわサイバーポリスサポーター養成講座」を県内の高校生で初めて修了したメンバーもいます。4月以降には、他校にも活動を広げていこうと思っています。

#### 主なインタビュー内容（参加者10名 一部紹介）

- Q. いろいろ携帯電話を持ちましたか？  
・小3～高1（入学祝いや連絡用、親を説得したなど）
- Q. 1日にどれくらい使っていますか？  
・1～3時間（6名）、3～5時間（4名）
- Q. 家族と約束ごとは決めていましたか？  
・ない（7名）、ある（3名 部屋に持ち込まない、食事中は使わないなど）
- Q. 使っていて困ったことはありますか？  
・携帯に頼り過ぎている、本を読まなくなった、会話がなくなったなど



サイバー防犯ボランティアの立場として、「みんなに伝えたいこと」について、各自事前に考えてもらい、話し合ってもらいました。様々な点から鋭い意見が出されました。その意見を、子どもたち・保護者・先生などの大人に分けて紹介します。

子どもたち	◎ <b>使い方に気をつけましょう</b> 発信するときに立ち止まる、作文するつもりで見直す、無料に気をつける ◎ <b>困ったら相談しましょう</b> 何かあったら大人に相談、善悪や怖さを知る、「自分は大丈夫」と思わない
保護者	◎ <b>機器と子どもの状況を知りましょう</b> 子どもが使っている物、状況に関心を持って、野放しにしない、フィルタリングの正しい知識を知る、誰でもか別唐・被害者になりうる危険性について知ってほしい、子どもの方が詳しいので子ども以上に勉強してほしい ◎ <b>子どもと話しましょう</b> 子どもが相談しやすい雰囲気、子どもにしっかり教えてほしい
先生や大人	◎ <b>学校でスマホ指導をしていきましょう</b> 先生同士で情報の共有をしてほしい、ダメな理由まで話してほしい、自主的にモラルを考える機会など、積極的にスマホ指導をしてほしい、子どもたちの利用状況の把握をしてほしい ◎ <b>地域でスマホ指導をしていきましょう</b> 使い方を身につける機会を作ってほしい、このボランティアを各地でやってほしい、機械のことを知ってほしい

多くのメンバーから意見が出たのは、「大人」も詳しくなってほしいということでした。またメンバーの中にも、使用時間が長く、家庭のルールがない生徒もいました。次ページに「スマホ18の約束翻訳版」を紹介します。家族や友だちで考えてほしいと思います。



# スマホ18の約束 ～サイバー防犯ボランティア翻訳版～

「スマホ 18 の約束」とは、アメリカのある母親が息子に iPhone と共に渡した使用契約書です。その日本語訳に挑戦し、学校で紹介した一部を紹介します。

## スマホ 18 の約束

これはアメリカで話題となって、日本に紹介された

アメリカのある母親が息子に iPhone と共に渡した使用契約書の日本語訳です。(一部抜粋)

原文：Gregory's iPhone Contract( <http://www.janellburleyhofmann.com/gregorys-iphone-contract/> )

7. 他人をだましたり、嘘を言ったりするためにこのテクノロジーを使わないでください。人を傷つける会話に参加するの、やめてください。良い友達との付き合いを大切に、わざわざトラブルなどに、巻き込まれる必要はありません。  
⇒メール・ラインは相手の表情が見えず相手の意図を見抜けないこともあり、友だち関係の悪化など日常生活の様々なトラブルに発展します。冗談だとしても相手が傷つくようなことは書かない・絵文字や顔文字で感情を表現すると良いでしょう。しかし、「人と直接話す」これが一番良いというのは紛れもない事実です。
12. 自分の大切なところの写真を送ったり、受け取ったりしないでください。笑わないで！あなたは賢いけれど、いつかそういう誘惑に負けそうになるときがきます。しかし、この行為が、あなたの青春や学校生活、社会人になったあとの生活をも破壊することもあります。だから絶対にやめてね。インターネットはあなたより大きく強いです。(これほど)大きな問題を犯すと消えません。特に風評はね。  
⇒インターネットに載せた画像は永遠に消えません。また、インターネットで個人と特定することは簡単に、載せた画像の内容によっては、学校を退学させられたり、仕事をやめさせられたりすることもあります。その画像を本当にインターネットに載せていいのか、または添付していいのか、確認することが大切です。
14. たまには、家に携帯を置き、携帯が無い事に安定感を覚える人になりなさい。iPhone は生き物ではないし、あなたの延長線でもありません。iPhone なしに生活できるような人になりなさい。携帯がないからといって、自分が取り残される不安にかられないで、大きく、強い人になりなさい。  
⇒最初はスマホがない生活でも支障をきたすということはありませんが、使用日数が増えると段々とスマホという名の底なし沼から抜けられなくなり、スマホがないことに大きな不安が生まれます。底なし沼に埋まれないように、しっかりとしたルール作りが必要です。
18. きつとあなたは、これを守りきれません。その時は、私は携帯を没収します。そして向き合って、話し合いをしましょう。話し合った結果を受けました、最初からやり直しましょう。私もあなたも、こうして学んでいくのです。私とあなたは、同じチームで、互いに協力し合い成長していきましょう。  
⇒スマホのルールは少し厳しめに作成することをお勧めします。どうしてもという場合には、よく家族と話し合いルールを改良していくと良いでしょう。またテスト勉強期間には勉強に支障が出ないようなルールをつくっていくとよいでしょう。成績優秀者には時間の使い方が上手な人が多いです。

日本ではネットのことがよく分からないまま、子供に好き勝手にスマホを使わせているというのが現状です。使い方が分からず、子に教えてもらうこともしばしば…なんてことはありませんか？

親が子のメディア管理能力を養わなければ、ネットの危険性を十分に理解していなければ、社会に、大きな影響を及ぼすことになるでしょう。

今一度、スマホの扱い方や危険性を家族で話し合ってみてはいかがでしょうか？

～神奈川県立相模原中等教育学校サイバー防犯ボランティア同より～

この使用契約書は、18項目の注意喚起だけではありません。健全で常識ある青年に育ち、テクノロジーとの共存できる大人になってほしいことや、機械に頼らない、強い意志と知識や広い心をもってほしいことなど、母親の願いを前文、後文に記載しています。

その18項目を、中等教育学校用の生徒に向け、サイバー防犯ボランティアのメンバーが解説を加え、より詳しく守るべきことを紹介しています。

今回はその中でも、どの家庭や学校でも生かせることについて取り上げ、紹介します。ぜひ、学校や家庭で生かしていただければと思います。



## 今月のネットパトロール状況

### 学校裏サイト

(2/28 現在：322 サイト、前月比+20)

- パスワード・会員登録が必要なサイト数 81件
- 個人情報掲載されているサイト数 11件
- 誹謗中傷が書き込まれているサイト数 31件
- 不適切な内容の書き込みがあるサイト数 25件

### 問題のあるプロフィールサイト(プロフ)

(2/28 現在：1853 サイト、前月比+175)

- パスワード・会員登録が必要なサイト数 1586件
- 個人情報掲載されているサイト数 1143件
- 誹謗中傷が書き込まれているサイト数 47件
- 不適切な内容の書き込みがあるサイト数 221件

●保護者向けの研修会に講師として指導主事を派遣しています。

連絡先：相模原市立総合学習センター学習情報班 Tel 042-754-2577